

研究主題

地域の力を活用したキャリア教育
～教育 CSR の効果的な活用をめざして～



1. 研究主題 地域の力を活用したキャリア教育 ～教育 CSR の効果的な活用をめざして～

2. 主題設定の理由

主題設定の理由は、次の2点である。

1点目は、教員と保護者、学習塾の先生等、生徒たちのことをよく知っている大人以外の人の話を聞く機会を増やしたいと考えたためである。千葉県教育委員会の「キャリア教育の推進に係る調査研究事業（令和6年3月）」において、「キャリア意識醸成の促進」と「生徒と企業との接触機会の充実」が提案されている。「生徒と企業との接触機会の充実」は、これまでは「職業体験」を中心に進められてきた。しかし、佐倉市では新型コロナの流行以降、佐倉型カリキュラムの実施もあり、職業体験を実施していない学校が多い。そのため、本校の生徒が企業と接触する機会は、非常に少ない状況にある。このままでは、生徒たちは「自分のことをあまり知らない大人と話す機会」がほとんどないまま、義務教育を終えてしまうことになる。そこで、今回2年生を中心に、「キャリア協育アクション推進コンソーシアム」などを通じて各企業が行っている様々な教育 CSR※1を取り入れることにした。教育 CSR を効果的に取り入れることで、生徒が多様な企業と接触する機会が増え、キャリア意識を醸成させることができるのではないかと考えた。

○生徒対象

【キャリア意識醸成の促進】

- (1)発達段階を通して、授業中に自らの言葉で自己表現する機会を増やすなど、子供たちが自己理解とキャリア意識を深めることのできる機会を充実させる。
- (2)社会に触れ、夢を育む講演会やセミナーなどを増やし、子供たちが自分の将来を考え、目標を持つことに資するような様々な機会を充実させる。

【生徒と企業との接触機会の充実】

- (3)地域や企業と連携した職業体験やボランティア、課題解決などの活動を体験させ、社会とのつながりを実感させる、様々な業種や職種について職業や産業を理解させる。
- (4)職場体験、インターンシップ等を通して、就職後のミスマッチを防ぐ。就労や進路全般に関する相談 対応や助言を行うことのできる専門的な外部人材の活用などにより、高卒就職希望者等に対するきめ細かい指導を行う。

○教員対象

【キャリア教育の質の向上のため、教員研修等を充実する】

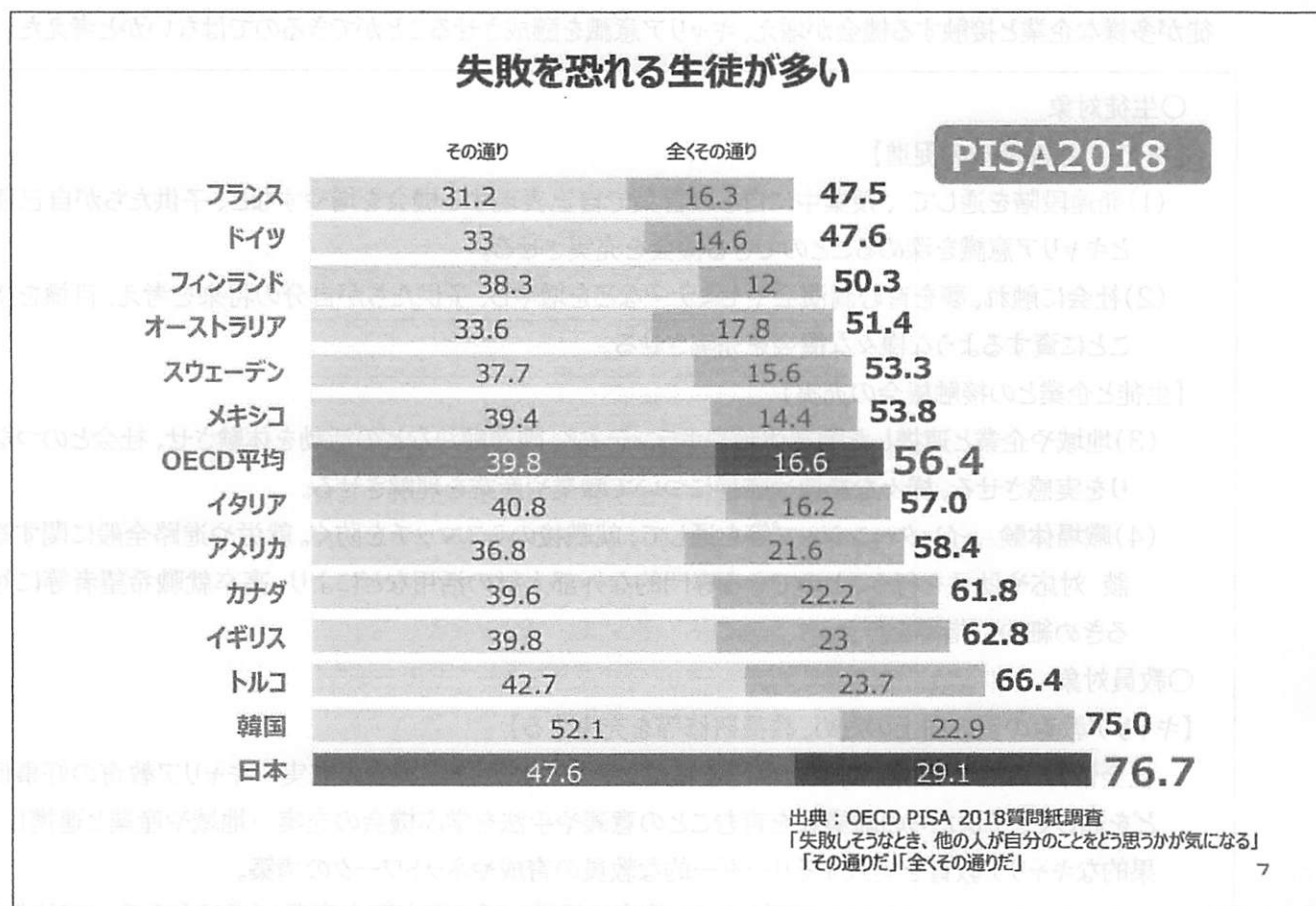
社会情勢や産業、職業、高校の専門学科について教員が学ぶ機会の充実・キャリア教育の好事例などを通して、子供たちの職業観を育むことの意義や手法を学ぶ機会の充実・地域や産業と連携し、効果的なキャリア教育を実践するリーダー的な教員の育成やネットワークの構築。

【キャリア教育の推進に係る調査研究事業（令和6年3月）より抜粋】

※1 教育 CSR(Corporate Social Responsibility)とは、「企業の社会的責任」のこと。企業が社会や環境と共存し、持続可能な成長を図るため、その活動の影響について責任をとる企業行動であり、企業を取り巻く様々なステークホルダーからの信頼を得るための企業のあり方。

※2 VUCA(ブーカ)はビジネス用語。volatility(変動性)、uncertainty(不確実性)、complexity(複雑性)、ambiguity(曖昧性)の頭文字を並べたアクロニム(頭字語)

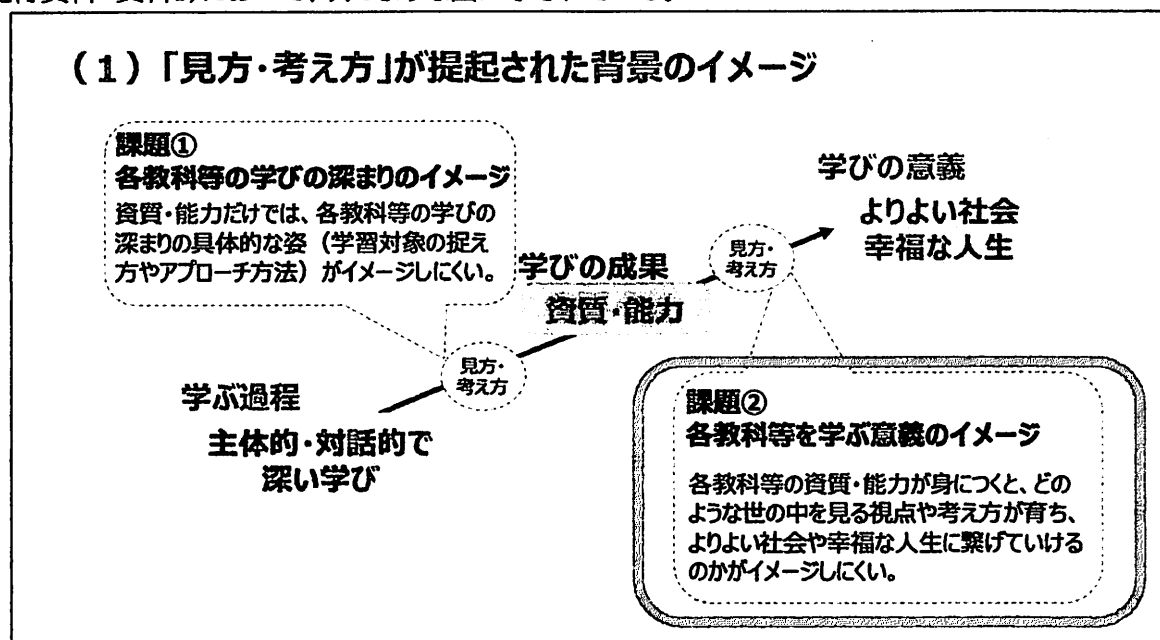
2点目は、生徒たちの描く将来の夢の実現には、現在の学びが必要であるという実感を持たせるためである。現代社会は、VUCA※²の時代と言われている。VUCA の時代では、状況を見極め、柔軟に対応し、迅速に判断して行動する力が必要になる。世の中で起きている様々な事象を関連付け、新たなものや新しいことを創造することも必要になることが予想される。しかし、迅速に判断して行動したり、新しいことを実行したりする過程では、失敗も数多く発生する。そのため、失敗を恐れずに挑戦し、失敗してもやり直せるようなレジリエンスも必要になる。同時に、その失敗を許容していくような土壌も必要になるだろう。しかし、PISA2018 のアンケート結果では、「失敗しそうなとき、他人が自分のことをどう思うか気になる」という設問に対して、「その通りだ」、「全くその通りだ」と回答した生徒が約8割いる。PISA のデータにも表れているが、日常の生徒たちとの会話の中でも「間違えたくないから発表しない」、「間違えたら笑われるから手を上げない」という声を授業でも耳にする機会が多い。教師の中にも、「生徒たちに失敗させたくない」、「自分も失敗したくない」という気持ちをもつ人も多いのではないかと感じる。「日本を、失敗できない国にしない」というスローガンを掲げる企業(inspace)が出てくるほど、現在の日本は失敗が許されない状況になっている。



しかし、教室は間違えても良い場所であってほしいと思う。私たち教師も人間なのだから間違えることも失敗することもある。だからこそ、時間はかかるかもしれないけれど、try&error を繰り返すことで身につけた技術や知識は、着実に生きる力になるのではないかと考える。その try&error を繰り返す時間を確保するために、カリキュラムを見直し、中学校3年間でどのような生徒を育成していきたいかを考えていく必要がある。

本校の研究主題は、「将来の夢と学業を結びつけ、学習意欲を高めるためのキャリア教育の実践」である。文部科学省の次期学習指導要領の論点整理(教育課程部会 教育課程企画特別部会(第6回))

配付資料 資料1)において、次のような図が示されている。



この中で、「課題②各教科等を学ぶ意義のイメージ」について、「各教科等の資質・能力が身につくと、どのような世の中を見る視点や考え方が育ち、よりよい社会や幸福な人生に繋げていけるののかがイメージしにくい」とある。今、学んでいることが自分の将来にどのように生かせるのかを実際に働いている人たちの話を聞いたり、あの時のこの学びが今、役に立っているという話を聞いたりすることでさらにイメージしやすくなるのではないかなと思う。私たち教師は、自分の学びを現在の仕事に生かしているが、そのほかの職業の場合、どのように生かせるのかがイメージできればさらに学びが深まり、また、教師自身の学びにもなるのではないかと考えた。以上二点により、本主題を設定することにした。

3. 本校について

本校は、佐倉市のニュータウン地区にある。本校のあるユーカリが丘地区は、不動産会社の「山万」が事業主体となって 1980 年から入居の始まった地域であり、分譲戸数を制限し、成長型のまちづくりを行っているため、一気に高齢化することを避けたまちづくりをしている。

1年生6クラス、2, 3年生5クラス、合計 538 名と佐倉市内では2番目に大きい規模の中学校である。

素直な生徒が多く、指示されたことに関しては、熱心に取り組む様子が多くみられる。授業にも熱心に取り組む生徒が多い。その反面、自分で考え、判断して行動することに苦手意識のある生徒も一定数いる。誰かに決めてもらうのではなく、自分の意志をもって行動する力については、発展途上であり、教師を始めとする周りの大人たちの意識やサポート次第で、大きく変化し、成長していく可能性を持っている。

4. 研究の仮説

- (1) 学校と家庭、学校と様々な地域が連携できれば、今までになかった新しい教育資源を発見することができ、生徒一人ひとりのキャリア形成をより効果的に行えるであろう。
- (2) 各企業が提案している教育 CSR を活用すれば、様々な大人と関わることができ、より広い視点からの「学ぶこと」と「働くこと」の密接な関係性に気付くことができるであろう。そして、生徒自身の可能性や選択肢が広がることに気が付けるであろう。

5. 研究の方法

- (1) キャリア教育全体計画を見直し、キャリア教育と学校の教育活動全般のつながりを見つけ、キャリア教育を中心とした各学年の単元配列表を作成し、各教科の単元と連携しながらキャリア発達を支援する方法を研究する。
- (2) 教育 CSR についての情報を集め、生徒たちのキャリア形成に有益な教育 CSR について検討し、活用・実践する。
- (3) 生徒たちのポートフォリオを中心に成果と課題を見いだす。

6. 研究の内容(授業実践を含む)

【実践1】 キャリア教育全体計画の見直し

キャリア教育全体計画を基に、単元配列表を作成した。特別活動、総合学習を中心にした単元配列表を作成することで、各教科と各領域の学習の系統性と関連性を一目で見ることができるようになった。教科や領域の学習の関連を考えながら、単元の配列を工夫することで、教科の学習が自分の将来につながっていることを意識しやすくなると考えた。(資料編参照)

【実践2】 教育 CSR の情報を集め、どこで何を活用するか検討する。

インターネットだけでなく、教育 CSR をコーディネートしてくれる会社と連絡を取り、活用できそうな出前授業や教材提供を探す。今回、取り入れた教育 CSR は以下の通りである。

《特別活動・総合・道徳での活用》

(1) 株式会社 マイナビ「キャリア教育実践モデルプログラム」

昨年度より、「キャリア教育実践モデルプログラム」を県からの指定を受け、取り組んでいる。株式会社マイナビが中学2年生向けに作成・提供した教材を活用し、年間6回の授業を実施した。まだ、研究段階のため、提供された資料だけでなく、学校で考えた補足資料等も使用し、活用しやすい方法を検討した。

(2) 公益財団法人横浜市観光協会「キャリア教育プログラム in 横浜」

10月末の校外学習と合わせて、企業訪問を実施した。午前中は班別研修を行い、横浜について学び、午後からは、日本銀行横浜支店、横浜税関、ニュースパーク、横浜県警、Mulabo!※3(株式会社村田製作所)に分かれて企業訪問を行った。各企業とも、見学するだけでなく、体験活動等も取り入れたプログラムがあり、一人ひとりが興味を持って参加することができた。

(3) LINE ヤフー株式会社(LINE みらい財団)「情報防災訓練」

校外学習では、修学旅行での班別研修を見据え、班に1つずつスマートフォンを渡した。スマートフォンの使用方法については、近年 SNS のトラブルなどが増えていることもあり、年度当初に普段の生活での使用方法について授業をした。しかし、横浜は海が近く、もしもの時にどこに避難すればよいか、班別研修時にもしものことがあったら生徒たち自身で判断し行動しなければならない。もう少し詳しく、ファクトチェックについても学んでおいた方が良く考えた。

※3 横浜県警と Mulabo! については、独自のルートで見学・訪問を依頼した。

そこで、「正しい情報か?」という情報の信憑性、信頼性などをどのように判断すればよいかを身に付けるために、「情報防災訓練」を行った。

(4)NHK for School 「ミライのしごとく」

仕事内容とその仕事の未来を10分ずつの動画でまとめている。「キャリア教育プログラム」の中で、「農業の未来」について学んだあとだったので、農業についての動画を学級全体で視聴した後、一人ひとりの興味のある職業についてタブレットを使って視聴し、ワークシートをまとめた。

(5)パナソニック株式会社「私の行き方 発見プログラム」

パナソニック株式会社が提供しているプログラム。1時間完結タイプのプログラムなので、どの部分をいつ使うのかは各学校の裁量で実施することが可能である。昨年度は、キャリア教育実践モデルプログラムの中で、発展編の「これからの社会と求められる役割」を組み合わせ授業を行った。昨年度の活用を踏まえて、教材開発担当の方と意見交換を行った。それを踏まえ、今年度は全学年のキャリア教育の一コマ目に組み込んで活用することになっている。

(6)株式会社 地域新聞社「発見 たんけん 千葉県 10年先のジョブノート」

本校では、職場体験活動を実施していないため、1学年で「職業調べ」を行い、「職業人に学ぶ会」を2学年で実施することになっている。今回は、地域新聞社の協力を得て、「発見 たんけん 千葉県 10年先のジョブノート」に掲載されている企業・8社を招いて「職業人に学ぶ会」を実施した。2時間展開で行ったので、2つの企業の講話と体験活動を行った。会の運営は、「職業人に学ぶ会実行委員会」を立ち上げ、担当職員がサポートしながら活動を行った。企業選択の際の企業紹介用のスライドなども実行委員の生徒が分担して作成した。事前学習の初回で、2学年の生徒たちにスライドを使って各企業の紹介をした。

各企業についての事前学習は、タブレット端末や「ジョブノート」を活用して行った。また、実行委員を中心に、担当企業ごとに質問内容等を検討した。当日、各企業ブースに担当の職員を配置したが、会場準備をはじめとして、講師の案内や司会・進行等も実行委員の生徒を中心に運営することができた。

《教科の授業での活用》

(1)技術・家庭科(家庭分野)

「ロッテ エシカル^{※4}消費プログラム『あなたの【選ぶ】から創るしあわせな未来』」

家庭分野の消費生活と食生活の学習の一環としてこのエシカル消費プログラムを取り入れた。このプログラムの中で、どのようなチョコレートを使用しようとしているかを説明する部分がある。キャリア教育実践モデルプログラムでも、チョコレートのサプライチェーンの説明があり、同時期に学習することで、より深く学べるように意識しながら授業を進めた。

※4 「エシカル」とは、倫理的な、道徳的なという意味の英語「ethical」をカタカナで表記した言葉。主に、人や社会、地域、環境に配慮した消費行動や商品、サービスを指す際に用いられる。「エシカル消費」は、直訳すると「倫理的な消費」となり、より広い視野で、環境や社会に配慮した商品を選ぶ消費行動のことをいう。

(2)美術科

「積水化学・東京書籍 Edu Town『SDGsスタートブック』」

2年生の美術科の学習で、SDGsのゴールの一つをモチーフとした立体作品を制作した。
SDGsに興味を持ち、どのようなゴールがあり、自分たちにできることから取り組めることはないかというメッセージをこめた作品を制作した。

7. 仮説の検証

(1)学校と家庭、学校と様々な地域が連携できれば、今までになかった新しい教育資源を発見することができ、生徒一人ひとりのキャリア形成をより効果的に行えるであろう。

私は今回の職業体験を通して、たくさん学ぶことができました。ムラーボは、中学二年生で習う理科についてだけでなく、ムラーボで作られている製品や、ムラーボと世界についても、たくさん知識を得ることができました。これからは、今回の体験で学んだことを学校生活に生かして生活していきたいです。

私たちは校外学習の企業訪問でニュースパークに行った。ニュースパークでは、二人か、一人で新聞を作り、それぞれで作った新聞のそれに対する講評を聞いた。言葉を変えたり、足すだけで見る人がより興味を引く文や見出しになつてすごいと思った。新聞作りは、これから使うことがあり、活かされることなので、とてもためになるお話ばかりで、気付くと時間が過ぎていてびっくりした。私は体育祭のことを新聞で書いた。同じ体育祭のことを書いた人もいたが、同じ内容のものを書いている人はいなかった。同じことなのに思ったことや、何が思い出に残っているかなどが全然違って、驚いたと同時に、面白いと思った。

(横浜校外学習 事後振り返り新聞より 抜粋)

校外学習を活用して横浜の企業訪問を行うことで、千葉県内では体験することのできない体験活動を行うことができた。また、職業に関する学びだけでなく、日々の教科の学習が実際の生活につながっていることを実感する記述も見られた。現在の学びが世界につながっていることを見いだせたことは、キャリア形成にも良い効果を与えたのではないかと考えられる。また、同じ体験でも、自分とは違う印象を持ったり、考えを抱いたりすることに気が付けたのも、視野を広げることにつながるのではないだろうか。

まとめ、調べて思ったこと
今回は色々な会社を調べてみて会社ごとに掲げている目標や取り組んでいることが異なるなど改めて思いました。商品を見ただけでどのような取り組みをしていることは分からないので興味を持って自ら調べることが大切だと思いました。

まとめ、調べて思ったこと
ヨーグルトをエシカルな観点からみると、オーガニックやフェアトレードなどの商品が多いと思いました。おいしさを追求するのもいいと思いますが、環境にやさしい商品も侮れないなと思いました。

(ロッテ エシカル消費プログラム エシカル新聞より抜粋)

また、ロッテのエシカル消費プログラムを授業で活用することで、エシカルについて学ぶことはもちろん、各企業について知り、各企業が提供している商品について調べることで、理念の違いや目標、取り組みの違いについて気付くことができた。

この教材もそうであるが、一つの企業が提供している教材は、その企業の宣伝要素が強いようにも思われ、初めは導入をためらう気持ちもあった。しかし、教材を活用して、教材開発担当者と使い方について様々な意見を交換する中で、教材の活用方法をうまくコントロールできれば、生徒たちにとってプラスの要素が大きいのではないかと思うようになった。今回は「エシカル新聞」という形でまとめを行った。エシカルについては、1年生の国語で「エシカルを考える」という文章が掲載されている。また、社会科の学習でもフェアトレードについて学習していることもあり、生徒たち自身のもつベースの知識を発展させることができたようである。

(2)各企業が提案している教育 CSR を活用すれば、様々な大人と関わることができ、より広い視点からの「学ぶこと」と「働くこと」の密接な関係性に気付くことができるであろう。それに伴い、生徒自身の可能性や選択肢が広がることに気が付けるであろう。

学んだこと・感じたこと・これからに活かしたいこと

今回、職業人の方々のお話を聴いて、私たちに今からできることも教えていただいたので、私がしていたこともあったのですが、知らずにやっていたこともあったので、心がけて生活していきたいです。大切な能力には、学校生活においても大切なこともたくさんあるので教えてもらったことを意識して生活していきたいです。

学んだこと・感じたこと・これからに活かしたいこと

職業人に学ぶから学んだことは、今、やるべきことはしっかりとをおそれずやることです。毎日がんばって努力をしてがんばれば職業人さんのようなすごい人になれるとわかりました。これから私は、今しかできない事を精一木不やり、くいがないうにしたいです。

学んだこと・感じたこと・これからに活かしたいこと

今回、実際に職場で働いている人のお話を聞いて、その仕事に対する興味が深まりました。それと同時に、もっといろいろな職業を調べてみたいという気持ちが高まりました。

これから自分の好きな事を生かす職業だけでなく、様々な職業を見れるように視野を広げていきたいです。

(職業人に学ぶ会 事後振り返り新聞より 抜粋)

職業人に学ぶ会では、「大切な能力には、学校生活においても大切なことがある」という記述や「今やるべきことは、失敗を恐れずにやること」、「自分の好きなことを活かす職業」だけでなく、「自分の視野を広げること」の重要性を学んだという記述がみられた。

また、同じ会社の中でも様々な仕事があることに気が付けた生徒が多かった。普段接している身近な大人以外の話を聞くことで、新しい視点を得ることができた生徒も多くいた。教育 CSR を活用することで、教員以外の大人からのアドバイスや考え方に触れ、大人もたくさんの失敗をして今があるということに気が付くことができたのは、生徒自身の視野を広げる機会になったと考えられる。

8. 成果と課題

【成果】

- キャリア教育実践モデルプログラムの1回目で実施した「マイジョブ・カード」の「興味診断」を一年間のキャリア教育がどのように反映されているか、確認するために今年の6月にもう一回実施してみた。その結果の中から一部ランダムに抽出して、昨年度の結果と今年度の結果をレーダーチャートで比較した(資料参照)。昨年度より五角形が小さくなった生徒もいるが、飛躍的に大きくなった生徒や、興味の幅が広がった生徒も見られた。おそらく、今回のキャリア教育だけが生徒たちの興味の幅を広げたわけではないが、生徒たちの成長に多少なりとも影響があったと考えられる。
- キャリア教育実践プログラムの5時間目で実施した「未来を想像しよう」という授業では、普段の授業では扱う機会の少ない「未来の職業」について考えることができた。AI やロボットの出現により、人間にしかできない仕事は何か？そのために自分に必要なことは何か？を考えるきっかけになった。そこから上級学校調べにつなげたため、自分の進学先について、「とりあえず普通科に進学したい」という生徒だけでなく、「自分の将来を考えると普通科以外の選択肢も考えたい」という声を教育相談等で聞く機会が増えた。
- 校外学習にキャリア教育を絡めて実施することで、年間を通して計画的にキャリア教育を実施することができた。保護者に対しては、学年だよりを通じて、キャリア教育3本立ての話を随時行い、家庭でも話題に取り上げてもらえるよう働きかけを行うことができた。

- 職業人に学ぶ会では、教員自身も知らなかった企業について学ぶことができた。例えば、これまでは「人に教えることが好き」と言っている生徒に対して、「それなら先生はどうか？」という声かけを行ってきた。しかし、今回の職業人講話の中で、企業内でも「教える」ことが仕事になっている部署があり、そこでも「人に教える」という仕事ができることに気が付いた。つまり、これからの職業選びは、その企業が「何をしている企業なのか」も大切であるが、それとともに「自分が何をしたいか」を知ることも必要ではないかと感じた。当たり前のことであるが、先生にならなくても「人に教える」という仕事は世の中に無数にあることに気が付けたのは大きな成果だったと思う。これからの生徒たちに対する言葉かけが大きくソフトチェンジされていくきっかけとなった。
- 単元配列表を作成することで、総合的な学習の時間、道徳、特別活動を中心に年間のキャリア教育を考え、計画的に実践することができた。また、各教科で何をいつ頃学習しているのかを把握しておくことで、横断的な計画を実施することができたのは成果だと言える。

【課題】

- 「学校と家庭」を連携させるために、もう少し家庭への呼びかけを行う必要があった。家庭と連携することで、より効果的なキャリア学習が実施できたと思うので、授業参観等をうまく活用していけるように次年度以降計画していきたい。
- 「学校と地域」の連携について、今回は様々な地域との連携を行った。できれば、3か年を見通して、地域の広がりにも順序だてをしていけたらよかったと思う。できれば、3年時の修学旅行も、キャリア教育の視点をもっと取り入れて行えたら、さらに学びに系統性が付き、学びが深まったのではないと思う。また、小学校との連携を取り入れられなかったのも課題である。
- 単元配列表は、今回は2学年のみの作成だったため、他学年での学習が生かし切れていない。教科書会社が変わった教科もあるので、改めて単元配列表を見直し、3か年分を作成したい。そのうえで、様々な教育CSRを活用して、より深い学びができるような授業を全校で行いたい。

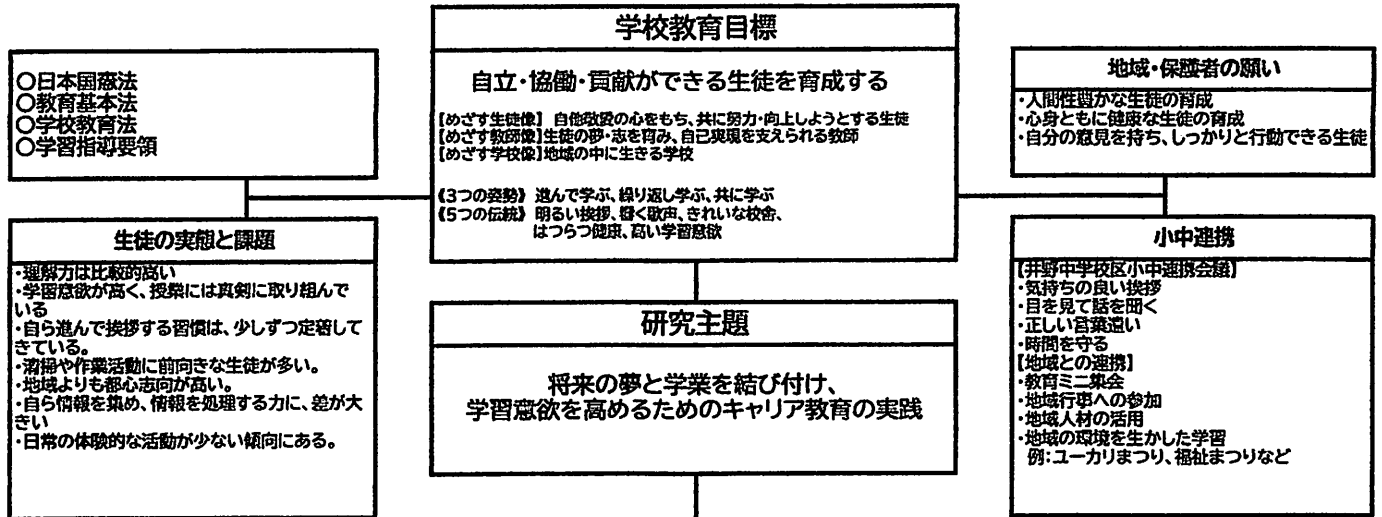
【全体を通して】

教育CSRを活用するためには、教師自身が教育CSRについて情報を仕入れる必要がある。そのうえで、実際に活用できるかどうかは各企業に問い合わせ、資料を取り寄せることになるが、その手間が面倒だと感じてしまうことも容易に想像できる。日々の教材研究の一環として、取り入れられるようなシステムづくりを行うのがよいだろう。私は、新しいことに興味を持ち、実践していくには労力がかかるが、これからの時代を生きる子どもたちのための教材研究は必要であるし、学校だけでは学べないことが世界には広がっていることを伝えていくのもキャリア教育の一環ではないかと考えている。様々な活動を通して、子どもたちの心に種を蒔いていくことが私たち教師にできることではないだろうか。私たち自身が多方面から学び、子どもたちからも学んでいく姿勢を持ち続けることが大切だと思う。

しかし、時間は限られている。効果的に、効率的により深い学びを実践していくためには、各教科・領域の連携が欠かせない。そのためにもキャリア教育全体計画を全職員で見直し、職員一人ひとりが自分事として、それぞれの授業等にどのように生かしていくかを考え、議論していく必要があると感じた。

資料彙編

令和7年度 総合的な学習の時間全体計画



道徳	特別活動	総合的な学習の時間	各教科
問題解決的な課題・活動に積極的に取り組める、ICT機器を活用した授業実践	集団の中で互いの立場や考えを理解し、主体的に活動する生徒の育成	地域から学び、地域の人々と共に学ぶことから自分を見つめなおし、よりよい生き方を実践できる生徒の育成	基礎学力の向上 主体的に取り組む学びの重視 他者との対話を通じて、問題解決に取り組む学びの重視

総合的な学習の時間の目標
探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人・もの・ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、主体的・自律的・創造的自分の生き方を見つけようとする態度を育てる。 (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解する。 (2) 地域の人・もの・ことの中から、自ら課題を設定し、その解決に向けて必要な情報を収集したり、整理・分析したりして考える力を身に付けるとともに、考えたことの根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。 (3) 地域の人・もの・ことについての探究的な学習に、主体的・創造的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動を考え、地域の一員として社会に参画しようとする態度を育てる。

総合的な学習の時間の内容				
学年	1年	2年	3年	
テーマ	進路学習、佐倉学&校外学習	進路学習、佐倉学&校外学習	進路学習、佐倉学&修学旅行	
探究課題	○地域の伝統や文化とその伝承に力を注ぐ人々 ○身近な働く人々の夢や願い	○地域の伝統や文化とその伝承に力を注ぐ人々 ○職業の選択と社会への貢献	○地域の伝統や文化とその伝承に力を注ぐ人々 ○街づくりや地域の活性化に取り組む人々	
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能	①地域の様々な伝統や文化の発展について理解することができる。 ②身近な人々がどのような仕事をしているか、どのような夢や願いを持って働いているか理解することができる。 ③地域の様々な伝統や文化に関する情報を収集することができる。 ④収集したい情報についての情報を収集することができる。 ⑤地域の伝統や文化がほかの地域とつながりがあったり、身近な職業が自分の生活に関連しているという認識は、地域や職業について探究的に学んだことによる成果であると気付く。	①地域の様々な伝統や文化の発展について理解することができる。 ②様々な職業について知り、それぞれの職業が社会に貢献していることを理解することができる。 ③収集したい情報に合わせて、適切に効率的に情報を収集することができる。 ④地域の伝統や文化が他の地域の発展にも関係していることに気づき、社会に貢献しているという認識は、地域や職業について探究的に学んだことによる成果であると気付く。 ⑤地域を大切にしたいという自分たちの思いの背景は、地域のよさや地域の人々の思いについて探究的に学んだことによる成果であると気付く。	
	思考力・判断力・表現力等	①自分たちを取り巻く地域に目を向けて、課題を見だし、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てることができる。 ②自分の目的や意図に即した情報を収集し、種類に合わせて類別して情報を蓄積することができる。 ③収集した情報を比較したり、関係づけたり、情報と情報がどのような関係にあるか見いだすことができる。 ④相手や目的に応じて、他教科等で担った表現力等を活用し、適切に表現したりまとめたりすることができる。		
	学びに向かう力・人間性	①探究活動を通して自分自身を理解し、他者の考えを受け入れ尊重しながら学び合おうとする。 ②自分や地域の方々の生活や働き方を見直し、問題解決に向けて進んで取り組もうとする。 ③地域との関わりの中で地域にとって必要なことと自分ができることを検討し、自分たちにできることを他者と協働し、実践に移そうとする。	②自分や地域の方々の生活や働き方を見直し、問題解決に向けて進んで取り組もうとする。 ③地域の方々とのかかわりをもとに、協働し、地域の活性化に向けて進んで取り組もうとする。	
	自己理解・他者理解			
	主体性・協働性			
	将来展望・社会参画			

他教科等で身に付けた資質・能力

令和7年度 第2学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

単元名「進路学習×キャリア教育(職業人に学ぶ)」(20時間)

月	小単元名	目 標	主な学習活動・内容 ()時間数	知識及び 技能	思考力・ 判断力・ 表現力等	学びに 向かう力・ 人間性等	使用する教材 等	他教科との連 携
4	仕事と能力の関係 発見	会社(社会)で役割を担 うためにはどのような 能力が必要なのかを考 える	「家電製品をつくる 人々に必要な力」につ いて、「設計」と「知的財 産」の2つの職種を取り 上げ、その仕事に従事 する社員から役割に必 要となる能力を読み取 る	②	①		パナソニック 「私の行き方発 見プログラム」	
5	キャリアプログラム ①	今の自分を知る①	今の自分について知 るために自分を分析 する	②	①		・ワークノート	
	キャリアプログラム ②	今の自分を知る②	分析した結果をもと に、働くことの意義 を考える	③	②③		・ワークノート	
7	キャリアプログラム ③	今の社会を知る①	様々な職業について 知る	②			・ワークノート	社会 家庭
	キャリアプログラム ④	今の社会を知る②		②	②	④	・ワークノート	社会 家庭
10	キャリアプログラム ⑤	未来の社会を想像す る①	自分の未来を想像す る				・ワークノート	
	キャリアプログラム ⑥	未来の社会を想像す る②	将来の夢、目標につ いて考える				・ワークノート	
11	職業人に学ぶ	これまでのキャリ アプログラムをも とに、どんな職業 に自分が興味があ るか考える	オリエンテーション 進路アンケートを配 入する。(1)	②	②		・アンケート (将来の夢、職 業について)	
		「進路アンケートの結 果から」を見て、感想 や意見を発表する。	将来の夢と希望を突 破させるために、今 後調べたいことをま とめる。(1)	③	③④		・ワークシート (「進路アンケ ートの結果」、感 想、今後の学 習)	

12 ~ 1	職業人に学ぶ	自分が体験をする 職業について、ど のような職業なの か調べる	体験する職業につ いて調べ、質問内容等 を整理する。(4)		③④	①	・ワークシート (職業人への質 問用紙)	
		職業人に学ぶ	「職業人に学ぶ」(2)			①	・ワークシート (「職業人に質 問」※質問や意見 の交換を積極 的に行う。)	
		「職業人に学ぶ」を ふりかえろう	私の人生「夢年表」を 作成する。(1)	④		①	・ワークシート (個人新聞「夢 年表」)	
2				④		①	・ワークシート (個人新聞「夢 年表」)	
2	上級学校調べ	上級学校について 調べる	上級学校の種類や場 所等について調べる (1)	③	②		・ワークシート (上級学校調 べ)	
		卒業生に学ぶ	シンポジウム 「卒業生に学ぶ」(2)		②	①	・ワークシート (「卒業生に学 ぶ」※質問や意 見の交換を積極 的に行う。)	
		「卒業生に学ぶ」を ふりかえろう	私の人生「夢年表」を 作成する。(1)		②	①	・ワークシート (個人新聞「夢 年表」)	
3					②	①	・ワークシート (個人新聞「夢 年表」)	

令和7年度 第2学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

単元名「校外学習×キャリア教育(校外学習で自分の将来を考えよう)」(30時間)

月	小単元名	目 標	主な学習活動・内容 ()時間数	知識及び 技能	思考力・ 判断力・ 表現力等	学びに 向かう力・ 人間性等	使用する教材 等	他教科との連 携
4	横浜について興味 を持とう	横浜について興味を 持たせる	オリエンテーション (1)	③	①			社会
5 ～7	横浜について、班 新聞をつくろう	横浜の様々な文化や 地域の特徴に興味を 持ち、調べたことを パワーポイント新聞 で発表する	班新聞の分担を決め る(1) ○何を調べるか ○自分の分担を決め る	③	②			
			情報を自分なりに整 理し、疑問点をメモ にまとめる。(1)		②③		・ワークシート	
			疑問に思ったことを 発表し、話し合い、ま たは調査をする。(1)		②③		・ワークシート	
			学習の成果をわかり やすくパワーポイント で表現する。(2)		③④	①	パワーポイン ト 学習活動の観 察	国語
			お互いに発表しあ う。(1)		④	①	・ワークシート ・自己・相互評 価票	
9	校外学習テーマを 設定しよう	探究したいことを具 体的にすることがで きる	校外学習の個人テー マとグループテー マを決める(1)	②	①			
9～ 10	校外学習の準備を しよう	班会議を行い、テー マに沿った校外学習 にするための方法を 考える	班別行動決め(6)		②③		・ワークシート	
		係会議を行い、自分 の役割について考 え、行動するための 方法を見つける	活動内容説明(1) 各係で必要事項を話 し合い、準備を行う。 (2)		②③	①	・係会議記録用 紙	

9～ 10 ～	校外学習の準備を しよう	日程や持ち物の最終 確認と、各係からの 連絡事項を知る。	しおり読み合せ(2)		④		・しおり	
9～ 10	校外学習の準備を しよう	日程や持ち物の最終 確認と、各係からの 連絡事項を知る。	校外学習事前集会 (1)		④	①	・しおり	
10	校外学習	校外学習で自分の テーマに沿って学 ぶ	校外学習(6)	②	③	①	・しおり(班会議 録等)	
10 ～ 11	校外学習をふり かえろう	校外学習をふりか える	校外学習事後集会 (1)		③	②		
		校外学習の体験や事 前学習での資料を新 聞にまとめる。	○個人新聞の作成 (3)		④	③	・新聞	国語

令和7年度 第2学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

単元名「佐倉学×文化財(文化財で佐倉学を深めよう)」(10時間)

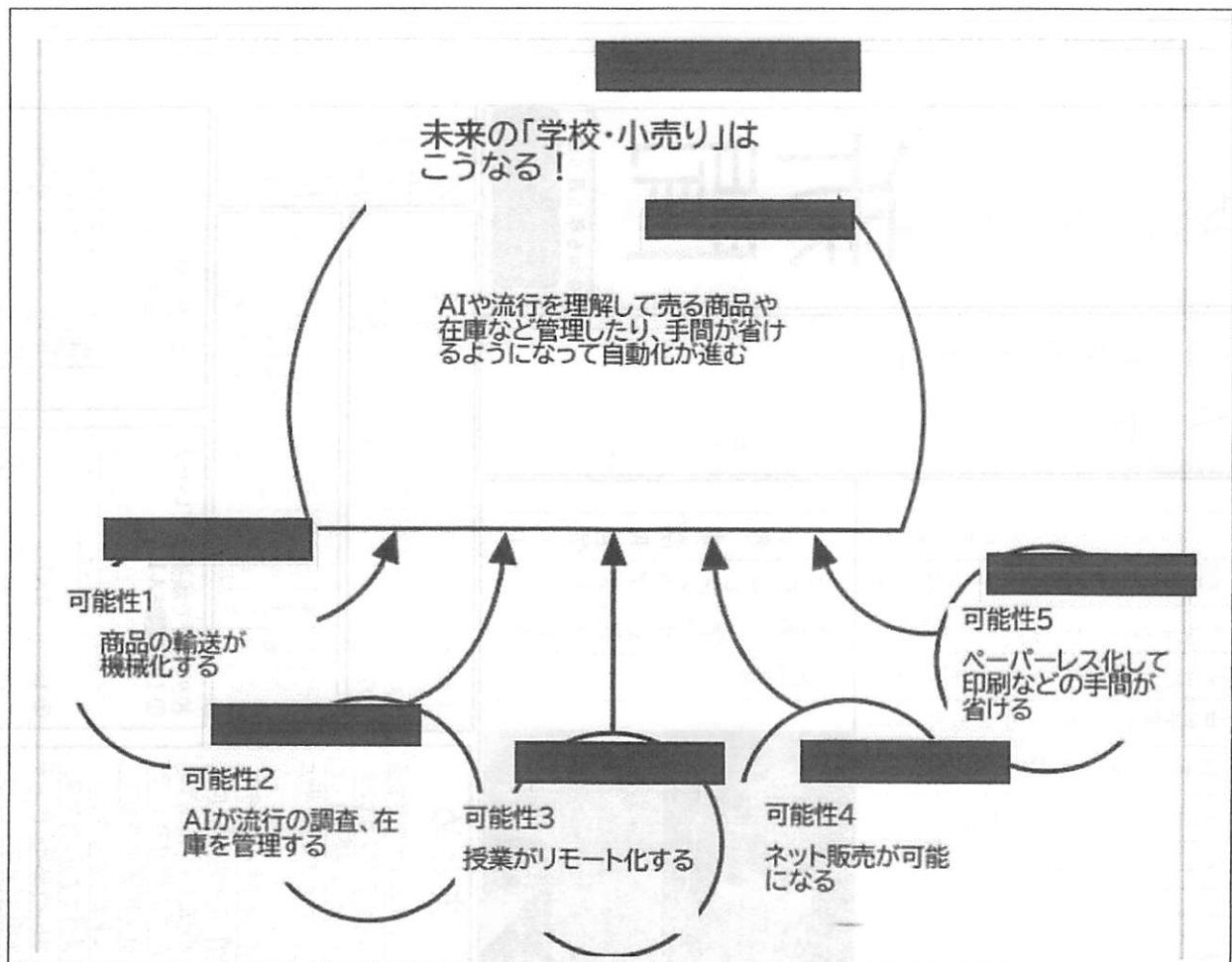
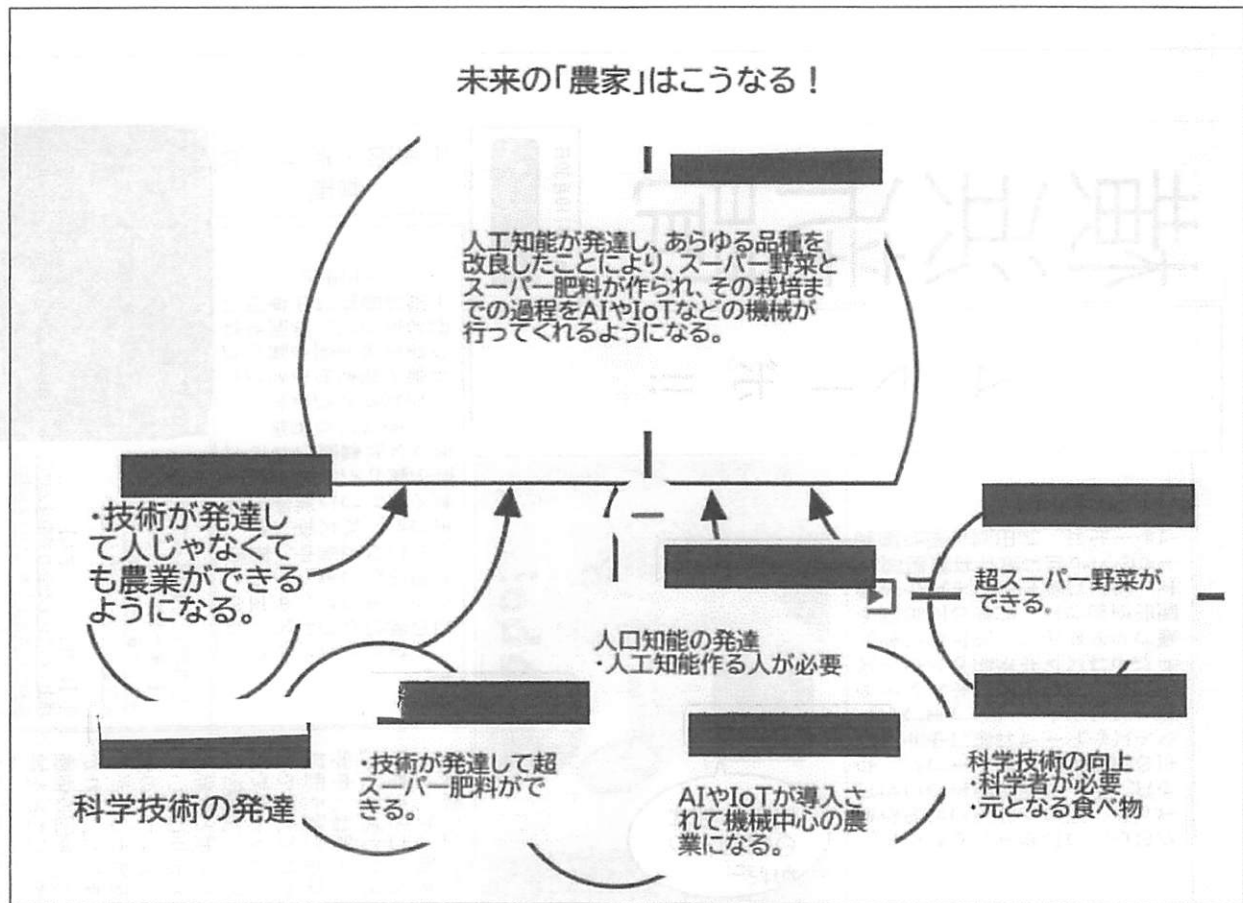
月	小単元名	目 標	主な学習活動・内容 ()時間数	知識及び 技能	思考力・ 判断力・ 表現力等	学びに 向かう力・ 人間性等	使用する教材 等	他教科との連 携
11	佐倉の文化財を知ろう	資料から、佐倉の文化財について知る。	情報を自分なりに整理し、疑問点をメモにまとめる。(1)	①			・ワークシート	社会
12	今まで調べた文化財の中から1つ選んでより深く調べよう	佐倉市の文化財の中から興味のあるものを1つ選んで、ワークシートにまとめる。	疑問に思ったことを発表し、話し合い、または調査をする。(2)		②	①	・ワークシート	
2	京都・奈良の文化財について知ろう	京都にはどのような文化財があるのか調べる。 奈良にはどのような文化財があるのか調べる。	学習の成果をわかりやすくパワーポイントで表現する。(6)		③④	②	・パワーポイント	社会
3	調べたことを発表しよう	意欲を持って積極的に発表することを通して、歴史に対する関心や表現力の基礎を身につける。	お互いに発表しあう。(1)	⑤	④		・ワークシート ・自己・相互評価票	国語

令和7年度 第2学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

単元名「予餞会×キャリア教育(予餞会を通して自分の力を高めよう)」(10時間)

月	小単元名	目 標	主な学習活動・内容 ()時間数	知識及び 技能	思考力・ 判断力・ 表現力等	学びに 向かう力・ 人間性等	使用する教材 等	他教科との連 携
11 ~ 2	予餞会を企画しよう	どんな予餞会にするか企画を立てよう	予餞会の係分担 どんな予餞会だったらいかが考える(1)	③	②		・ワークシート	
		係会議を通して、自分にできることを考えよう	係会議(3)		②③		・係会議記録用紙等	
2	予餞会を成功させよう	予餞会のリハーサルをしよう	予餞会のリハーサル(3)		④	①		
		予餞会	予餞会(2)		④	①		
3	予餞会をふりかえろう	予餞会のふりかえり	ふりかえり用紙で予餞会をふりかえる(1)			①②	・ワークシート	国語

	2年											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
国語	・ガイダンス ・虹の足 ・タオル	・漢字の成り立ち ・紙の建築 ・主体的・対話的な学び合いによるコミュニケーション能力の育成	・日本の花火の楽しみ ・水の山富士山 ・「ひざし」の作品作り	・敦盛の最期		・活用のある自立語 ・スピーチ ・話し言葉と書き言葉	・随筆の味わい ・ガイアの知性	・夏の群列	・書き初め ・敬語	・学ぶ力 ・二千五百年前からのメッセージ	・短歌の味わい	・走れメロス
社会	ガイダンス 【地理分野】 第2編 日本のさまざまな地域 第2章 世界から見た日本の姿		【歴史分野】 第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	2節 江戸幕府の成立と鎖国		3節 産業の発達と幕府政治の動き	【地理分野】 第3章 日本の諸地域		第4章 身近な地域の調査	【歴史分野】 第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米の進出と日本の開国		2節 明治維新
数学	1章 文字式を使って説明しよう[式の計算]	2章 方程式を利用して問題を解決しよう[連立方程式]	3章 関数を利用して問題を解決しよう[1次関数]		3章 関数を利用して問題を解決しよう[1次関数]	4章 図形の性質の調べ方を考えよう[平行と合同]	5章 図形の性質を見つけて証明しよう[三角形と四角形] 6章 起こりやすさをとらえて説明しよう[確率]		7章 データを比較して判断しよう[データの比較]		数学の自由研究	
理科	・物質の成り立ち	・いろいろな化学変化 ・化学変化と熱の出入り	・化学変化と物質の質量	・生物をつくる細胞	・自由研究	・植物の体のつくりとはたらき	・動物の体のつくりとはたらき	・電流と回路	・電流と磁界 ・電流の正体	・気象観測	・気圧と風 ・天気の変化	・日本の気象
英語	Review Lesson	Lesson1 Service Dogs	Lesson 2 Our Energy Sources	Lesson 3 Design In Our Life Reading 1 Six Amazing Things about Penguins		Lesson 4 Workplace Experience	Lesson 5 How to Celebrate Halloween	Lesson 6 Castles and Canyons	Lesson7 The Gift of Giving	Lesson8 Rakugo in English	Reading 2 Stone Soup	Lesson 9 Gestures and Sign Languages
特別活動	・自分を伸ばす学年に ・自分の学びを考える ・みんなで伸びる学級を(学級組織と学級目標作り) 【入学式】 【新入生歓迎会】	・校外学習に向けて ・生徒総会に向けて 【生徒総会】 【体育祭】	・定期テストに向けて 【定期テスト①】	・1学期をふりかえって ・夏休みの計画		・定期テストに向けて ・生徒会役員選挙に向けて 【生徒会役員選挙】 【定期テスト②】	・合唱祭に向けて 【合唱祭】	・卒業後に学ぶ道 「ミライのしごと〜」 【定期テスト③】	・自分らしさを生かそう ・2学期を振り返って ・冬休みの計画	・予餞会に向けて ・「上級学校を知ろう」 ・予餞会を成功させよう 【定期テスト④】 【予餞会】 【冬輝祭】	・1年間のまとめ ・最上級生に向けて 【卒業式】	
総合	・オリエンテーション ・校外学習で訪問する「横浜」について班で分担して調べよう	・キャリア教育実践プログラム①「自分を知らう」 ・横浜について調べよう	・校外学習で訪問したい企業について調べ、その企業についてみんなにプレゼンしよう		・キャリア教育プログラム②「社会にある仕事に興味を持とう」	・合唱祭を学ぶ ・校外学習(横浜方面)	・キャリア教育プログラム③「未来を想像しよう」 ・「職業人に学ぶ会」に向けて ・私の行き方発見プログラム「仕事と能力の発見」 ○職業調べ学習 ○話を聞きたい企業について調べよう。 ○質問してみたいことを考えよう。	・「職業人に学ぶ会」に向けて ・「職業人に学ぶ会」を振り返って ・予餞会を学ぶ ・修学旅行に向けて ・佐倉学(佐倉の文化財を知る。京都奈良とのつながりを見つける)		・1年間の振り返り ・修学旅行に向けて		
道徳	1.まるごと好きです 2.先輩 3.留学で考えさせられたお金	4.まだ食べられるのに 5.短所を武器とせよ 6.たったひとつのたからもの	○情報防災訓練 7.六千人の命のビザ 8.国境なき医師団・貫戸朋子	9.伝えるということ 10.一枚のはがき 11.清掃はやさしさ		12.たすきとポンポン 13.怒りの救助活動 14.SNSとどうつき合う?	15.夜の果物屋 16.違反摘発 17.五万回斬られた男・福本清三	18.わたしのせいじゃない 19.最優秀 20.譲る気持ちはあるのぬ子へ	21.狂言師・野村高斎物語 22.細路温原を守れ 23.飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ	24.復旧にとどまらず、復興を〜後藤新平〜 25.語りかける目	26.本当の友達って 27.海と空〜屋野の人々〜 28.三年生を送る会	29.風に立つライオン 30.ハッチを開けて、知らない世界へ
音楽	・歌唱・楽典		・鑑賞	・合唱祭にむけて		・鑑賞・器楽「リコーダー」		・歌唱・鑑賞				
美術	・オリエンテーション	・デザイン「『紋』のデザイン」				・立体作品「SDGsをデザインしよう」		・絵画「ベン画」		・鑑賞		
保健体育(男子)	・体育理論 ・保健分野(疾病・怪我) ・集団行動・体づくり運動	・バスケットボール ・保健分野	・保健分野			・ソフトボール ・保健分野	・体育理論 ・陸上競技(走り幅跳び) ・保健分野	・器械運動(マット運動) ・保健分野	・長距離走 ・ダンス ・体力づくり ・保健分野	・サッカー ・保健分野 ・バレーボール		
保健体育(女子)	・体育理論 ・保健分野 ・集団行動・体づくり運動	・バスケットボール ・陸上競技(短距離走) ・保健分野	・保健分野			・バレーボール ・保健分野	・体育理論・器械運動 ・保健分野	・ソフトボール ・ダンス	・長距離走 ・ダンス ・体力づくり ・保健分野	・バレーボール ・サッカー ・保健分野		
技術・家庭	・エネルギー資源の利用 ・生活や社会と生物育成の技術 ・電気の利用	・さまざまな生物育成の技術(水耕栽培) ・生物育成の技術による問題解決 ・エネルギー変換による問題解決	・運動の利用 ・これからの生物育成の技術 ・電池を使った電化製品の製作			・エネルギーの有効活用 持続可能な社会 ・家庭生活と消費 ・購入と支払いと生活情報	・消費者被害と消費者の自立(3年国語6月) ・食事の役割と食習慣 ・中学生の栄養と食事	・日常食の調理① ・地域の食文化 ・ロケットエシカル消費プログラム①	・献立作り ・日常食の調理② ・冬休みの課題「行事食」	・様々な食品と選択 ・日常食の調理③④ ・ロケットエシカル消費プログラム②	・持続可能な食生活 ・生活を豊かにするものの製作 ・幼児の頃と今の自分	



横浜新聞

令和6年11月30日

ムラーボ!!

ムラーボは、村田製作所が運営する子ども向け科学体験施設です。電気に関するクイズや体験展示を通して、科学の不思議や楽しさを学ぶことができます。私たちはスマホを使ってクイズを解き、そのあとにポイントを稼ぐためにゲームをしました。先生の理科理科を学べました。さらに、ゲームを体験することによって、楽しく学ぶことができましたので、とてもよかったです。



中華街・赤レンガ倉庫

中華街

一歩は最初に中華街に行きました。時間がないうちでお土産を買ったり食べ歩きができたので良かったです。赤レンガ倉庫を買いだめして満喫できました。バス停にむかっていく途中、班員が転んでしまった。びっくりしました。先生の目の前だったけど、けががなくてよかったです。

校外学習で頑張っていた人

①【実行委員 さん】
理由：仕事が多い中で、クラスみんなを引っ張っていたから。

②【レク係 さん】
理由：バスレクを全力で盛り上げ、最初から最後まで楽しいバス移動にしてくれたから。

私は今回の職業体験を通して、たくさん学ぶことができました。ムラーボは、中学二年生で習う理科についてだけでなく、ムラーボで作られている製品や、ムラーボと世界のつながりについても、たくさん知識を得ることができました。これからは、今回の体験で学んだことを学校生活に生かして生活していきたいです。

校外学習 新聞

令和6年11月5日

自分でカスタム！
カップヌードルミュージアム

10月30日にカップヌードルミュージアムに行きました。室内なので、天候に左右されることがありませんでした。通をいれる力、アセバニで自由にデザインしたり、中にいれる具材を自分ですべてオリジナルの力、アヌードルをつくることもできました。おみやげも展示も見て面白くて、楽しかったです。



その後、実際に自分でカスタムしたカップヌードルを家で食べました。おもしろいです。

ニュースパークへ
企業訪問！

ニュースパーク
企業訪問！
訪問先、実際に新聞
をつくった
り、新聞
の歴史を
展示が
深々が
じかでき
ました。特
に新聞作
に新聞作

制では、実際に新聞
が読める
新聞まで
ている方
が色々前
話を話し
てくれて本
当に勉強に
かりました
その後が
話を参考

校外学習で頑張っていた人

①【さん】
理由：実際に新聞をよーく見て、くわしく話を聞いて、おもしろい話を聞いたから。

②【レク係 さん】
理由：バスの中で、バスレクを盛り上げて、みんなを楽しくしたから。

心細いから制作した後、新聞の改善点を言った。これからは、教えたこと、できるところ、事後新聞にも生かせるように頑張ります。

まとめ

今回の校外学習を通して、たくさんのことを学び、体験することができました。特にニュースパークに訪問した際には、今回作った新聞に役立っているお話をたくさん聞けました。お土産もたくさんいただきました。お土産もたくさんいただきました。お土産もたくさんいただきました。

「職業人に学ぶ」新聞

前半企業のまとめ 企業名【キューリウツ保育園】

保育士の仕事は子供の好奇心が育つように援助すること。1つの遊びから様々なことを五感で感じてもらい、「知った」「思った」環境もつづけている。1人1人の顔をよそに見て示気があるかどうかわきまえる。子供の成長を感じる場面や、大人と一緒にわかってドキ・ワクワク、感動できる所にやりがいを感じる。

後半企業のまとめ 企業名【オウリスコタ】

3つの役割で仕事が行われており、車の販売やお客様への連絡、訪問を担当する「営業スタッフ」、車の点検、点検時の受付、お引き渡しを担当する「サービスエンジニア」。お出迎えや電話応対、依頼処理をお出しなさい。お出迎えを担当する「事務スタッフ」がある。チームワークを大切に、お客様に選んでいただけるお店を目指している。

学んだこと・感じたこと・これから活かしたいこと

今回、実際に職場で働かされている人のお話を聞いて、その仕事に対する興味が増えました。それと同時に、もっといろいろな職業を調べたいという気持ちが高まりました。これから自分の好きなことを生かす職業を探していきたいです。

「職業人に学ぶ」新聞

前半企業のまとめ 企業名【東邦大学付属病院】

看護職には、大きく分けて看護師、助産師、保健師、准看護師の4つに分かれます。看護職についている人は全国168万人。最近では女性看護師が増えて、男性看護師の割合が年々増加しています。高齢化が進む医療や看護の仕事が、より活発化しています。

後半企業のまとめ 企業名【キューリウツ保育園】

保育園では家族を支援、子どもの発達などの社会的役割があげられます。保育士の仕事は、子どもたちの見守りだけでなく、子どもたちの「なぜ、どうして」という疑問を自分で調べるような環境を整えるなどの、子どもの好奇心が育つよう援助する仕事なのです。

学んだこと・感じたこと・これから活かしたいこと

私は、自分の将来の仕事やりたいことかあまり想像できず、ちゃんと就職できるのかなと不安だったので、今回の話を聞いて、同じ仕事でも好きなことを得意なことかそれぞれ違い、その個性を生かしている、自分の好きなことか視野を広げてみて、いいなと思いました。

【ミライのしごととーく ワークシート】

今回見た番組：「介護業界

」の未来 (←職業を書こう)

①この職業の“未来”

人がたりなくなる。

②この職業に求められているチカラ／これから必要なこと

- | | |
|------------|--------------|
| ・専門性 | ・思いこみにとられない力 |
| ・土壌のつながり | ・やめない力 |
| ・テクノロジーの導入 | ・熟慮 |

③そんな未来のために、今、自分にできること

・学校でしっかり勉強して、いろんなことを知る。

AIやロボットにはない感情、を人はもっているから、

人とAIやロボットが協力することが大切だと思った。

4 今日の授業を振り返って考えたことや感じたことを書きましょう

どの仕事も、課題点があり、良い点がありいろいろだけど、
思いこんだり、きめつけたりしないで、新しいことをしてみたら、
かいつくかみつかったりするから今からいろんなことを
ためていこうと思った。

エシカル商品について

令和7年
3月 2日
作成者

紹介する加工食品について（どのようなところがエシカルだと思うかも含む）

紹介する加工食品はひとくちミルクチョコレートという加工食品です。

世界的に問題になっている労働問題を商品を買うことで、開発途上国の支援になると思ったからです。

私がおすすめしたい商品はこちら！

トップバリュのひとくちミルクチョコレートという商品でカカオ農家から適正価格でカカオを買い取り販売をしていますつまり生産者が安定した生活を送りやすくなるということです。トップバリュの商品なのでネットでも買うことができる上、近所のイオンでもあんしんして買うことができます。

また、フェアトレード認証対象商品です。フェアトレードとはエシカルの中のひとつの分類のようなものらしいです。

価格は税込み354円とエシカル商品にしては比較的小手頃です。これはあくで予想ですが、トップバリュという大企業だからこそ、この価格で販売できるのではないかと思います。



佐倉市や千葉県で製造されている商品について千葉県産のフクユタカという大豆を使った納豆（千葉千消を応援）や流山市にある無農薬野菜やひらがいたまごを使った食品を販売しているところもあります。エシカルかはわかりませんが、ユーカリが丘に万里庵キッチンという佐倉の生産者さんがつくったオーガニック野菜を料理にして提供するというお店がありました。そのお店のポテトサラダ食べた時は野菜が甘くマヨネーズにあっていて、とてもおいしかったです。



まとめ、調べて思ったことエシカル商品は環境や社会、人に配慮した商品のことで、通常のものより高くなりやすい。だが、企業の努力で、できるだけ価格を抑えているのかもしれない。千葉県には何のエシカル商品があるか知らなかったけど、今回を通して、納豆や新鮮野菜、ゼリーなどたくさんあることがわかりました。大人になってお金に余裕ができたなら食べてみたいです。

アイス

令和7年
3月 3日
作成者

私がアイスをエシカルな加工食品として、選んだ1番の理由はアイスには賞味期限、消費期限がないということです。種類や保存方法、環境によっては溶けてしまったり、味が落ちてしまうことがありますが、長期保存が可能な場合がほとんどです。長期間、食べることが可能なので賞味期限、消費期限を過ぎてしまっても廃棄するということがありませんので食品ロスにつながるのではないかと思います。また、コンビニエンスストアなど手に入りやすいことに加えて、種類が豊富なのでアレルギーや好き嫌いのある人でも自分の好きな味を見つけて楽しむことができます。

ハーゲンダッツ



スーパーなどたくさんの場所で売られているため、手に入りやすいものの少し値段がお高めですが高級アイスとして知られているハーゲンダッツ。味や品質にももちろんこだわっていますが、実は環境にもとても配慮されているエシカルな食品であることを知っていますか？

右の画像の○で囲われたマークは『バイオマーク』というものです。このマークは生物由来の資源（＝バイオマス）を活用し、品質及び安全性が関連する法規、基準、規格等に適合している環境商品の目印です。ハーゲンダッツが売られているハーゲンダッツジャパンでは、地球環境の保全と持続可能な社会の実現に取り組むことが企業の責務と考えられており、たくさんの取り組みが行われています。例として、スプーンやミニカップのフタを石油由来のプラスチック⇒環境に配慮されたバイオマスプラスチックへと切りかえられています。



千葉県では、成田ゆめ牧場やマザー牧場、佐倉市にも金子牧場といくつかの牧場があります。これらの場所では、その牧場の生乳を加工してつくられたアイスはしっかりと保存すれば、長期間食べれるうえ、新鮮な状態で加工、冷凍されているかもしれません。また、輸送費がかからない分、値段も安くなっているかも...？ですが、個人的にはその場で食べる、すぐに食べるのであればアイスよりもソフトクリームのほうが濃厚で新鮮さを感じられるのでお勧めです。

💡 普段当たり前のように食べている食品でも、調べてみると環境や消費者に配慮されているエシカル食品が多くて、びっくりしました。しかし、私たち消費者がエシカル食品を買わないと意味がないので、選ぶときはエシカル（特に環境）について考えていきたいです。また、アイスとソフトクリームのように状況によってどれを選ぶか決めていきたいと思いました。

「興味診断」の変化(厚生労働省「マイジョブ・カード」より)

